参考

宮城県
Miyagi Prefectural Government

記者発表資料
令和８年１１月１３日
防災推進課地域防災班
担当：大江・天野
電話：０２２－２１１－２４６４
E-mail:bosait@pref.miyagi.lg.jp

ドローンを活用した災害時物資輸送に係る実証調査を気仙沼市で実施します

１　趣旨

令和６年能登半島地震では、道路の寸断等により孤立した集落への物資輸送等にドローンが活用され、防災分野での実装が期待される一方、離着陸場所が平時から確保されていないことなどが課題となった。

県では、災害時に孤立する可能性のある地域への物資輸送を想定し、平時から活用可能な離着陸地点や航路設定等を検証するとともに、輸送に要する時間や輸送可能量、安全管理、自治体における運用上の課題等を確認する実証調査を実施することとした。

今回、気仙沼市において、災害により道路が寸断され孤立した地域への緊急物資輸送を想定し、遠隔地からドローンの運航管理を行う実証飛行を実施するもの。

２　実証調査の概要

⑴日時

令和８年 11 月 20 日（金）10：00 ～ 12：00

⑵場所

離陸地点（メイン会場）

気仙沼港（商港）岸壁（6L バース近く）（気仙沼市朝日町 475）

着陸地点

漁火パーク（気仙沼市唐桑町北中 98-18）

⑶想定する災害・輸送

地震・津波により道路が寸断され、孤立した地域への緊急物資輸送を想定。

物資をドローンに積み込み、唐桑地区まで輸送する。

⑷使用機体

ヤマハ発動機「FAZER R G2」

最大積載重量：33kg／最大飛行時間：約 100 分／ガソリンエンジン／衛星通信、直接波、LTE による通信

⑸運航方法

福島県南相馬市の拠点から遠隔操作・運航管理を行う。

⑹輸送物資

保存食、水、炭等　計 23kg 程度(総ペイロード 26kg 程度)を予定。

３　今回の実証で検証する事項

以下の事項を検証し、ドローンによる緊急物資輸送に必要な離着陸場や航路設定等における課題の整理につなげるもの。

ア　物資の積込みから輸送・受取りまでに要する時間
イ　往復の飛行時間及び燃料消費量
ウ　何往復できるか、どの程度の物資を輸送できるか
エ　離着陸地点や飛行ルートの安全性・実用性
オ　物資の受渡しなど、自治体側で必要となる作業や運用上の課題
カ　警察、海上保安庁、漁協等の関係機関との調整事項

４　当日の主なスケジュール

時間	内容
９：45～	受付
10：00～10：10	開会・挨拶
10：10～10：20	事業・フライト概要説明
10：20～10：30	輸送物資の積込み
10：30 頃	ドローンによる実証フライト

11：00 頃	フライト終了・質疑応答
11：30	関係者による振り返り
12：00	終了

5　取材を希望される報道機関の皆様へ【重要】

⑴事前の取材申込みについて

・天候等により、実証飛行を中止又は実施内容を変更する場合があります。

・このため、取材を希望される報道機関の皆様には、事前に取材申込みをお願いします。

・実証飛行の中止又は実施内容の変更を行う場合には、事前に取材申込みのあった報道機関へ県から連絡します。

・取材を希望される場合、11 月 19 日（木）14：00 までに、下記担当まで連絡願います。

⑵実証飛行の実施判断について

・実証飛行については、天候等を踏まえ、以下のとおり実施の可否を判断します。

11 月 19 日（木）13:00

▸実施が困難と判断した場合は、延期について検討します。

11 月 20 日（金）7：00

▸実証飛行が困難と判断した場合は、気仙沼市地域交流センター(ワン・テン庁舎)2 階において、機体展示及び事業説明等に切り替える予定です。展示時間は 10：00～12：00 までを予定。

※実施判断の結果については、事前に取材申込みをいただいた報道機関に連絡します。

⑶お車でお越しの場合

・離陸地点、着陸地点ともに駐場スペースを確保しております。安全確保のため、当日は係員の案内に従って駐車してください。

⑷取材時の留意事項

・安全確保のため、飛行中は立入禁止区域を設けます。

・取材、撮影の際は、係員の指示に従うとともに、安全確保に御協力をお願いします。

6　実施機関

宮城県（主催）

気仙沼市（共催）

株式会社 JDRONE（受託事業者）

【取材申込み・お問い合わせ先】

宮城県防災推進課地域防災班

担当：大江、天野

TEL：022-211-2464

E-mail：bosait@pref.miyagi.lg.jp